

北秋田の活性化は元気な産業から

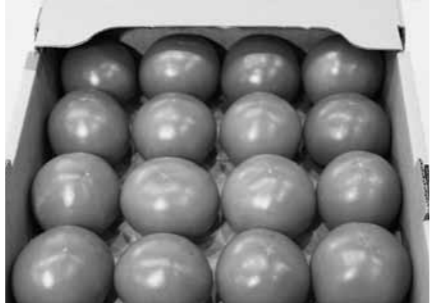
第6回北秋田市産業祭



大勢の来場者で賑わった第6回北秋田市産業祭

◀比内地鶏鉄板焼き
ふるまいコーナー

◀鷹巣・北秋田建設技能
組合による実演



▲市長賞を受賞したトマト
(柴田吉彦さん・本城)



▲市長賞を受賞した長ねぎ
(今川清太郎さん・糠沢)



▲ゆるキャラ「バタもっち」と原作者の斉藤爾伽さん



▲醤油バター餅を考案し販売した秋田北鷹高校



北秋田市産業祭農畜産物品評会の展示



坊沢とうふ
早食い競争
(子供の部)



開会式ではバター餅の餅まき

「農・商・工の大集合!! 笑顔発信北秋田」をテーマに、第6回北秋田市産業祭が10月20日と21日の2日間、鷹巣体育館を会場に開かれ、農業・商業・工業全般にわたる展示品の観覧や特産品を買い求める多くの来場者で賑わいました。

産業祭は、市全体の地場産業の振興や地域経済の活性化を図るため、市や商工会、JAなどで作る実行委員会の主催で行われているもので、今年で6回目の開催。

初日の午前10時30分、ステージ前では開会セレモニーが行われ、はじめに北秋田市産業祭の会長である津谷市長が「今年は、バター餅がブームとなり、今回の産業祭ではバター餅を更に盛り上げようと、秋田北鷹高校の生徒による醤油バター餅の考案、バター餅のゆるキャラ発表、BMセレクション2012プロコンテスト、本城奈々さんによるバター餅の歌の披露など、今年はバター餅にちなんだ産業祭であります。また、産業祭は、農業に限らず、この地域で色んなものを作っている事業所の方々がPRできる場でもあるので、多くの方々はこの北秋田市を知っていただき、今まで知らなかったものを掘り起こし、北秋田市の活性化になるような産業祭にしていきたいと思います。」などと主催者を代表してあいさつ。

続いて、農産物品評会の表彰が行われ、

325点の中から選ばれた1等賞11点が表彰されました。(2等賞20点、3等賞24点)

ゆるキャラ「バタもっち」が登場

来賓の紹介のあと、日本バター餅協会が募集した北あきたバター餅のゆるキャラデザインと名称の表彰では、斉藤爾伽さん(秋田市、15歳)が最優秀賞に選ばれました。表彰のあと、斉藤さん原作のゆるキャラ「バタもっち」(※紹介は24頁)が着ぐるみとなって登場し会場を沸かせました。開会式の最後はバター餅の餅まきが行われ、おいに盛り上がりしました。

秋田北鷹高校は「醤油バター餅」を考案

初日、2日目とも場内では、農産物品評会の展示、事業者による製品の展示や販売、秋田内陸線のPR、鷹巣・北秋田建設技能組合による建築技能大会課題実演など行われました。その中で秋田北鷹高校の家庭クラブが考案した醤油バター餅は、販売開始から飛ぶように売れていました。

また、市出身のシンガーソングライター本城奈々さんによるライブステージでは、本城さん作詞作曲の「バター餅の歌」が初披露されました。歌は、小さい子どもも親しめるようなかわいい元気な曲調で、来場者は手拍子をしながら聴き入っていました。

「バター餅 BIG4」が決定

最後は、協会が認定した方々が作るバター餅のコンテスト「BMセレクション2012プロコンテスト」の発表が行われました。協会審査員と2日間の来場者500人が審査員として、8社のバター餅を食べ比べ、審査員が一番おいしいと思うバター餅に竹串の票を入れ、票の多かった上位4社がBIG4として発表されるもので、「大川米屋」「鷹松堂」「マッコ工房」「みうら庵」の4社が選ばれました。

本城奈々さん「バター餅の歌」を披露

ステージでは、鷹巣小学校金管バンド部の演奏、坊沢営農組合のとうふ早食い大会、遊児&麗花+ハツクルベリーのマジック&ジャグリングショー、チャールベンズのリイブステージが行われ会場を盛り上げました。



▲バター餅の歌を作詞作曲し披露した本城奈々さん

▼BMセレクション2012プロコンテストのBIG4の皆さんと日本バター餅協会の村井会長(右)

